

ゴールデンウィークにおける高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策を徹底しましょう！

アジア地域で高病原性鳥インフルエンザが継続発生しています。

ゴールデンウィークには海外への渡航者や国内での人や物の移動が増え、家畜伝染病の病原体の農場への**侵入リスクが高くなります**。

畜産関係者は本病発生地域への**渡航は自粛し**、仮に**渡航する際には以下の点に留意**してください。

また、農場への病原体侵入を防ぐため、不要な人の立入りや物の持込みをさせないよう注意してください。



発生予防の重要ポイント

《海外渡航に当たっての留意事項》

- ①農場、家畜市場、と畜場等の家畜関連施設には立ち入らない
- ②動物との不用意な接触を避ける
- ③肉製品等は日本に持ち帰らない
- ④帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受ける

《帰国後の留意事項》

- ①帰国後一週間、畜舎など衛生管理区域には立ち入らない
- ②海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域には持ち込まない

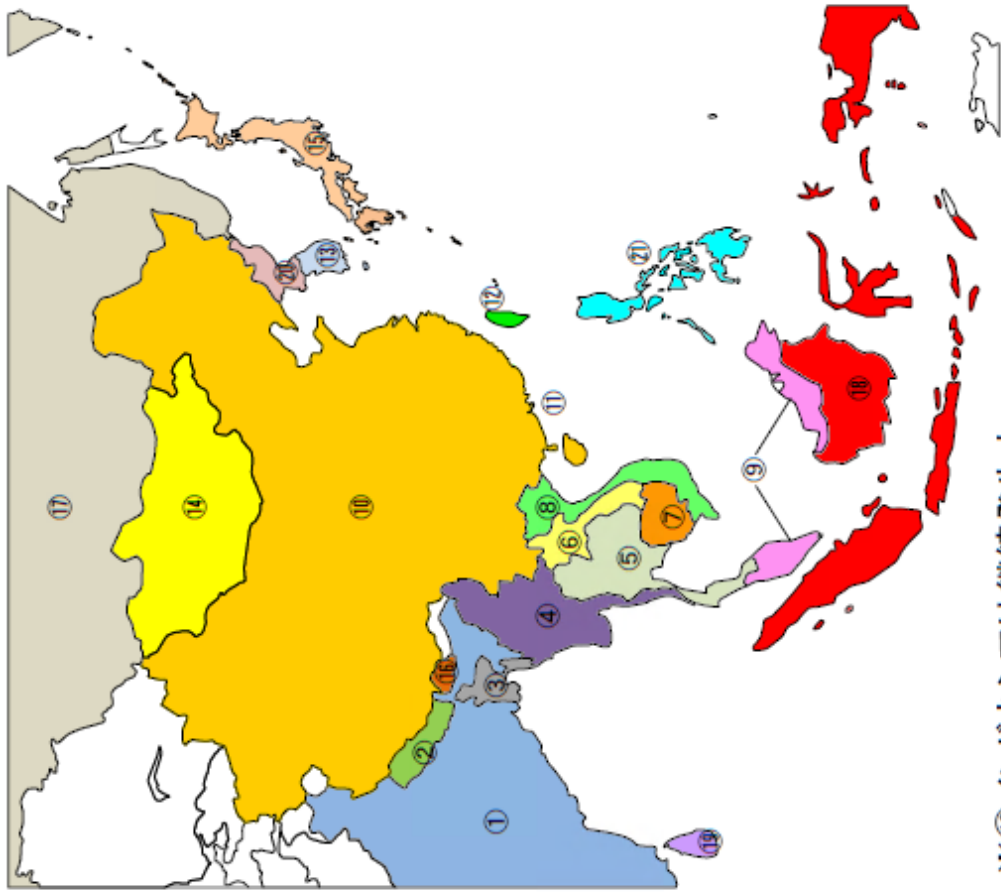
飼養している家畜に異状がみられた場合には、直ちに獣医師または家畜保健衛生所に連絡ください。

〒035-0072 むつ市金谷2丁目 18-25 電話 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259
夜間及び休日の連絡先 090-5841-6810

下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所 むつ地区家畜衛生推進協議会

アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況

	① インド	② ネパール	③ ミャンマー	④ タイ	⑤ ラオス	⑥ カンボジア	⑦ ベトナム	⑧ マレーシア	⑨ 中国	⑩ 香港	⑪ 台湾	⑫ 韓国	⑬ モンゴル	⑭ 日本	⑮ ブータン	⑯ ロシア	⑰ スリランカ	⑱ 北朝鮮	⑳ フィリピン	
2014年	●▲	●▲																		
2015年	●▲	●	●▲	●	●▲	●▲	●	●	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲
2016年																				
2017年																				
2018年																				



※⑱インドネシアは継続発生中

2018年4月16日現在

家さん● 野鳥▲ (発生日、検体回収日に基づく)
 (赤:高病原性鳥インフルエンザ、青:低病原性鳥インフルエンザ)

出典:OIE WAHID 他 ※野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては、確認ができた台湾のみ記載